

興南高校56期 フロンティアコース

仲本 澪

神戸大学

海事科学部へ進学

興南中学校出身
英検準1級取得（高1）
柔道部所属

＊大学受験のアドバイス

友達同士で質問をしたりすることはいいことだが、精神的には一人で闘う覚悟が必要だと思う。様々な誘惑があったが、それらを無視して勉強する気持ちを保って受験に臨んだ。英検などの検定は高1で取れるようにしておくと、その後受験勉強に集中できると思う。

―興南はどんな学校？―

授業の進むスピードが早いので、1つひとつの授業を意欲的に受けることができ、時間を有効的に使うことができる学校。授業でレベルの高い問題をどんどんチャレンジさせてくれる。特に数学は高校の内容を中学から始められるので内容を深く理解することができ、受験時にも有利にたてると思う。

また、中学のときから古典の授業で古文や漢文を力を入れて履修していたので、高校に入ったときにさらにレベルの上がった内容を抵抗なく覚えることができ、センター試験でも点数に繋げられた。

―興南で成長できた事は？―

俯瞰的に物事を見て意見や問題に対して他の見方や考え方がないか探す癖がつき、クラスの中で意見が対立したときに客観的に意見を考察できるようになった。

中学のときから苦手意識があった国語は高1から高3にかけて点数が倍になり、考え方も先生に育ててもらった。教えてもらった通りに勉強していたら勝手に伸びた。

―大学受験どうだった？―

受験したのは「志」特別入試というもので、一次で書類審査と学科試験、二次でディベートと口頭試問と、ボリュームも多くハードなものだった。特に学科試験は過去問がないことから、国立大の二次試験対策を夏休みで終わらせるつもりで一生懸命取り組んだ。

また、ディベートは問題を話し合った後に受験者全員で試験官にプレゼンを行うというものだったので少々面喰らったが、積極的に発言することができ、主体的にディベートを引っ張ることができた。



―これからの目標は？―

大学でスーパーキャビテーション航行という新技術を研究し、船の輸送時間短縮に貢献したいと思っている。これが現実になれば、エネルギー問題に大きな一石を投じることができるのではないか思う。まだ漫画のような話だが、実用化の可能性はあると思うので、大学という研究が許される環境を存分に活かして、ノーベル賞を狙いたい。